

2. アクティブ・ラーニングアンケートの結果報告

依頼文

授業担当教員 各位

アクティブ・ラーニングプロジェクト代表

野 田 敦 敬

伊 東 正 人

アクティブ・ラーニングの授業アンケート調査について（お願い）

第3期中期目標・中期計画における本学の重点目標の一つは、大学教育を通じてアクティブ・ラーニング（以下、AL）の学びを積んだ学生が、学校現場で能動的学修方法を展開できるようになることとしています。このことを全学的に取り組むために、ALを取り入れた授業を学部課程、大学院課程ともに全開講授業の6割以上で導入することを目標としています。

「主体的・協働的な学び」を实践できる教員の養成であるアクティブ・ラーニングプロジェクトでは、2012年に文部科学省が定義したALや先進校の事例を参考にしながら、教員養成大学としてのALについて検討してきました。そこで、本学ならではの4つの視点から目指すALを考え、平成29年3月29日開催のFD集会で『本学が4つの視点から目指すAL』として提案し、参加者からの意見等を集約しまとめました。

本プロジェクトでは、本学が目指すALを含んだ**平成31年度開講授業**の開講数と実施教員数の現状調査をするためにアンケートを実施します。アンケート調査の結果から、本学でのAL授業の現状、ALを導入する上での課題を整理し、本プロジェクト遂行に向けた材料にいたします。

つきましては、アンケートについて下記の要領で実施いたしますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

【アンケート調査主体】教職キャリアセンター・アクティブ・ラーニングプロジェクト

【アンケート対象者】平成31年度に愛知教育大学で授業を担当している全教員（非常勤講師を含む）

【アンケート調査の回答方法】

■常勤教員：令和2年2月19日（水）開催教授会にて実施・回収

■非常勤講師：アンケート対象者に依頼文と共にアンケート調査の紙媒体を授業担当教員に送付
アンケートは次のいずれかの方法で回答してください。

1）紙媒体の場合は、所属の学系事務に提出する。

2）Webの場合は、学務ネットにログインし、「アンケート回答」から回答する。

注）一時保存の機能はございません。また一度回答いただきますと修正はできません。

【アンケート提出期限】2020年3月31日（火）（非常勤講師のみ）

【本件に関する照会先】

（アンケート内容）理科講座 伊東正人 内線2621

（事務的内容）企画課 教育企画室 古川・佐藤・中村 内線2717

アクティブ・ラーニングについての授業アンケート調査

所 属 _____

氏 名 _____

※

注
意
事
項

○を塗りつぶすときは、**○枠をきちんとマーク**して下さい。
※黒色のえんぴつ、または黒色ボールペン、黒色サインペン
でご回答ください。本回答用紙は、**機械で読み取ります**。
丁寧に記入ください。

《マークの仕方》

(良い例)

●

(悪い例)

の

○

チェック

はみでる

うすい

下記の『本学が4つの視点から目指すアクティブ・ラーニング』をお読み頂き、アンケートに回答をお願いします。また、授業科目については、**平成31年度(令和元年度)に開講したすべての担当授業**を対象とします。

【本学が4つの視点から目指すアクティブ・ラーニング（以下、AL）】

＜主体的な学びの視点＞

授業内容等から学修者自らが課題を発見し、その課題の解決に向けて、問題解決型学習、体験学習、調査学習等を行うことで、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力が育成されている。

＜対話的な学びの視点＞

学修課題及び修得した教養、収集したデータ、体験等について、グループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等を行うことで、より個人の学びが深まっている。

＜深い学びの視点＞

単に断片的な知識や技能等を修得するのではなく、主体的及び対話的な学びの過程で、学修者の思考が活性化されることで、知識や技能等の関連が図られ、新たな概念化することができている。

＜教員及び教育を支援する専門職の養成としての視点＞

学修者がALの価値を実感することで、教員及び教育支援専門職に就いたときに、自らに児童・生徒に主体的で対話的な深い学びを実践できるようになっている。

問1 担当している全科目（学部と大学院）に、上記4つの視点のうち少なくとも1つを含むALの授業はありますか？○を塗りつぶしてください。

○ ある

○ ない

「ある」と回答された方のみ、以下にお答えください

問2 担当している全科目（学部と大学院）の中で、上記4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業科目はいくつありますか？

担当する学部授業全科目で コマのうち コマある

担当する大学院授業全科目で コマのうち コマある

問3 同一科目の全授業回数（16回）の内、上記4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の平均回数はどの程度ですか？（科目により回数が異なる場合、最大の平均回数を回答して下さい）

○ 1, 2回

○ 3～8回

○ 9回以上

問4 上記4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の中で、取り入れている授業形態があれば教えてください。（複数回答可）

- ☐ 学生参加型授業（クリッカー、感想・質問カードの使用など）
- ☐ 学生の共同授業（グループワーク、グループディスカッションなど）
- ☐ 教員や学生が問題設定をし解決する（問題発見・解決型学習など）
- ☐ 野外実習、体験実習、調査学習など
- ☐ その他(以下に記入)

問5 上記4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の中で、デジタル機材を使用した授業形態があれば教えてください。（複数回答可）

- ☐ 電子黒板やデジタル教科書を用いた模擬授業
- ☐ e-learning システムを活用した授業
- ☐ ICT機器の効果的活用をした授業
- ☐ その他(以下に記入)

アンケートのご協力ありがとうございました。（教授会終了後、出口設置の回収BOXに提出をお願いします）

アンケート回収率

	教育科学系		人文社会科学系		自然科学系		創造科学系		計		
区分	教員	非常勤	教員	非常勤	教員	非常勤	教員	非常勤	教員	非常勤	合計
配布枚数	74	132	38	77	51	29	43	77	206	315	521
回収枚数	59	66	32	45	38	4	39	31	168	146	314
%	79.7%	50.0%	84.2%	58.4%	74.5%	13.8%	90.7%	40.3%	81.6%	46.3%	60.3%
	60.7%		67.0%		52.5%		58.3%				

アンケート結果

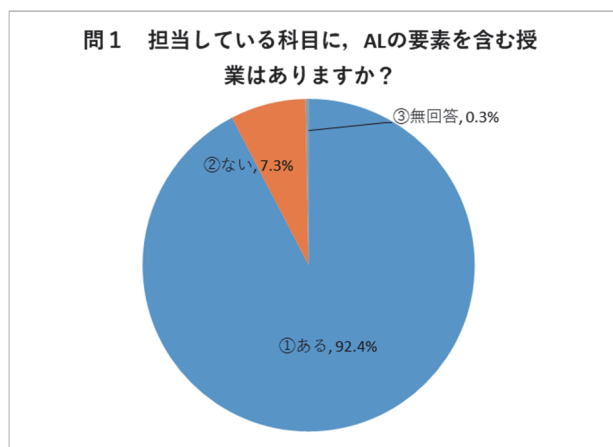
アクティブ・ラーニングについてのアンケート集計表

令和元年 7月
令和 2年 3月実施分
回答数: 314

科目名称: 全学系

問1 担当している全科目(学部と大学院)に、4つの視点のうち少なくとも1つを含むALの授業はありますか？	選択肢	①ある	②ない	③無回答	←1名:サバティカルイヤー取得のため	
	%	92.4%	7.3%	0.3%		
	回答数	290	23	1		
「ある」と回答された方						
問2 担当している全科目(学部と大学院)の中で、4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業科目はいくつありますか？	選択肢	①学部AL導入	②大学院AL導入			
	%	78.3%	86.8%			
	回答数	1442/1842	375/432			
問3 同一科目の全授業回数(16回)の内、4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の平均回数はどの程度ですか？	選択肢	①1,2回	②3~8回	③9回以上		
	%	6.2%	46.9%	46.9%		
	回答数	18	136	136		
問4 4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の中で、取り入れている授業形態を教えてください。(複数回答可)	選択肢	①学生参加型授業	②学生の共同授業	③教員や学生が問題設定を解決する	④野外実習、体験実習、調査学習	⑤その他
	回答数	156	241	162	96	19
問5 4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の中で、デジタル機材を使用した授業形態を教えてください。(複数回答可)	選択肢	①電子黒板やデジタル教科書を用いた模擬授業	②e-learningシステムを活用した授業	③ICT機器の効果的活用をした授業	④その他	⑤無回答
	回答数	12	19	111	20	180

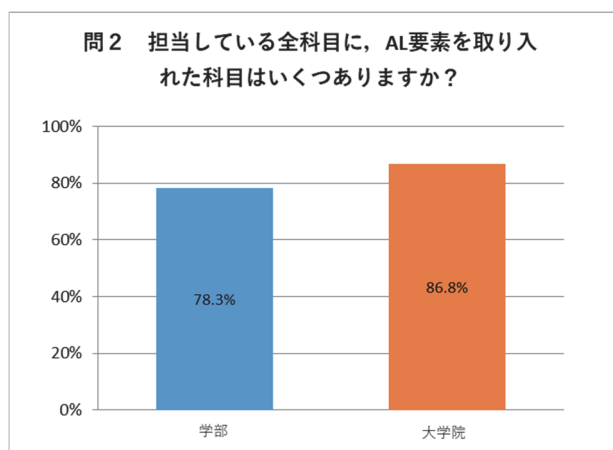
問1 担当している全科目（学部と大学院）に、4つの視点のうち少なくとも1つを含むALの授業はありますか？



選択肢	%	回答数
①ある	92.4%	290
②ない	7.3%	23
③無回答	0.3%	1

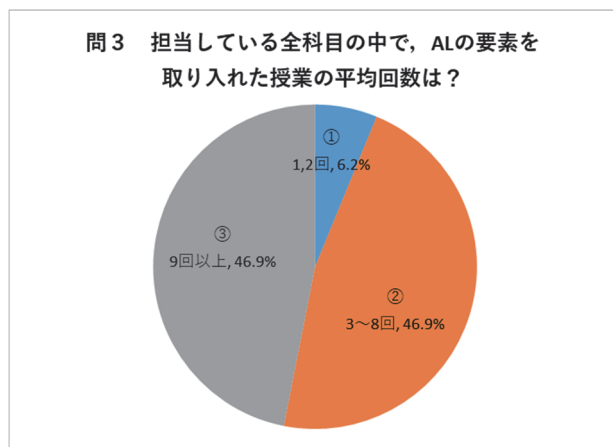
問1で、「ある」と回答された方

問2 担当している全科目（学部と大学院）の中で、4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業科目はいくつありますか？



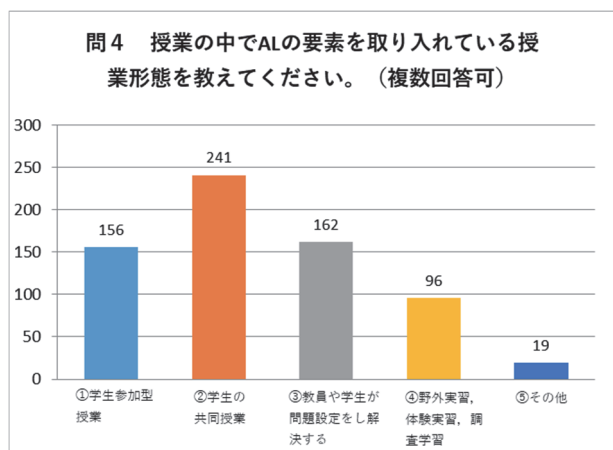
選択肢	%	回答数
①学部 AL 導入	78.3%	1442/1842
②大学院 AL 導入	86.8%	375/432

問3 同一科目の全授業回数（16回）の内、4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の平均回数はどの程度ですか？



選択肢	%	回答数
①1、2 回	6.2%	18
②3~8 回	46.9%	136
③9 回以上	46.9%	136

問4 4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の中で、取り入れている授業形態を教えてください。（複数回答可）

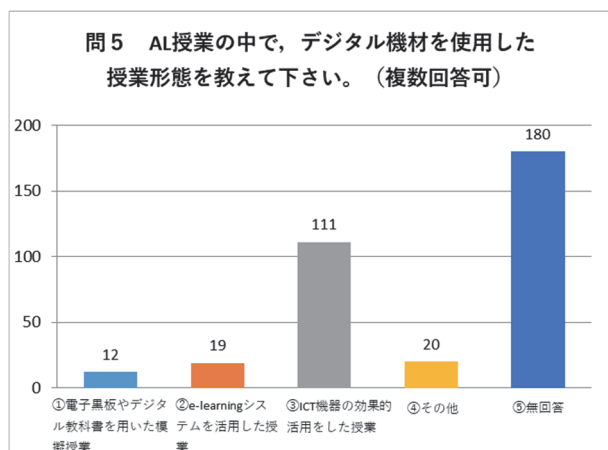


選択肢	回答数
①学生参加型授業	156
②学生の共同授業	241
③教員や学生が問題設定をし解決する	162
④野外実習、体験実習、調査学習	96
⑤その他	19

問4 ⑤その他

- ・ 研究報告、漢文・中国語資料の調査・解読内容の発表、ディスカッション
- ・ 学生によるプレゼンテーション（ポスター発表の様式、パワーポイント作成）
- ・ 学外に授業参観及びその検討会
- ・ レポート発表 ・ 調査学習の報告会
- ・ 臨床実習（学外の保険医療機関における実習）
- ・ 美術作品制作の授業がほとんどのため、制作だけでなく講評会での各自が制作した作品のプレゼンテーション、発表等を行っている。また共同作業も多い。
- ・ 学生相互に学生の作品の鑑賞と手法の研究をさせる。
- ・ M1 生活研究 A では、教材開発を行った。M1 社会科教育 A では、模擬授業を行った。
- ・ 事例を提示し、小レポートにまとめさせ、次の授業で解説
- ・ ジグソー学習、ディベート
- ・ 模擬授業と授業参加者による授業検討会の実施
- ・ 課題にも、教師・子供の立場になって体験的なものを準備した。
- ・ 対話中心学習、アクティブ・リーディングの方法の実践
- ・ 教材作成とその発表 ・ piano 練習、演奏
- ・ 面接ロールプレイ
- ・ 模擬授業の学習指導案作成のためのワークショップ
- ・ 学生に古い小説や新聞記事を提示し、それを読んでかつての教育と現在の教育の相違点を探させ、現在の教育のあり方を主体的に発見する時間を取り入れている。

問5 4つの視点のうち少なくとも1つを含むAL授業の中で、デジタル機材を使用した授業形態を教えてください。(複数回答可)



選択肢	回答数
①電子黒板やデジタル教科書を用いた模擬授業	12
②e-learningシステムを活用した授業	19
③ICT機器の効果的活用をした授業	111
④その他	20
⑤無回答	180

問5 ④その他

- ・ノートパソコン ・学びネットの活用
- ・インターネットを活用した授業記録の共有による学びの振り返り
- ・実験指導用 PowerPoint ・YouTube の動画講義（自作）を見させている
- ・コメント提出にまなびネットを活用
- ・クリッカー 報告会でプレゼンのためにパワポや動画製作資料を用いた
- ・CCD カメラを用いた微生物の遊泳の解析
- ・ネットや、DVDで美術・工芸作品を鑑賞したり、作業工程の確認を行なう。
- ・基本となる電子作品の配布を元に、学生が発展させていく授業。web 上の全世界的にある様々な作品も参考可能な形態である。
- ・スマホと C-Learning という有料 LMS
- ・調査活動のまとめでは、学生がパワーポイントを作成し、発表を行った。
- ・独自の moodle system を利用しています。
- ・模擬授業で、電子黒板、デジタル教科書(小学校社会)、パワーポイントの使用を推奨している。
- ・スマートフォン ・NHK for school を活用した授業
- ・パワポを使用した授業 ・VTR、録画教材など
- ・プロジェクト等の活用（図書館の授業スペースの活用）
- ・PPT、動画及び Web コンテンツ（NHK）の利用程度。授業内において各自の端末を利用し、情報収集を推奨している。

【要望事項】

- ・図書館の模擬授業ルームで、中学校社会(東京書籍が望ましい)のデジタル教科書を使えるようにしてほしい。
- ・模擬授業ルームを 50 人～60 人規模の広さに拡張してほしい。私が担当している授業は、49 名在籍しているが、机が 30 人分しかないので、模擬授業使用する時は毎回 20 人近くが椅子だけで我慢しているので。